637

(1)

半減期をT、経過時間をt、

崩壊前、時間t経過後の質量をそれぞれ、 m_0 , m_t とする。

$$m_t = m_0 \left(\frac{1}{2}\right)^{\frac{t}{T}}$$
 より、(原子核の半減期の式) …① $m_0 = 1.0g$, $T = 1600$ 年 , $t = 800$ 年 $m_0 = 1.0g$, $T = 1600$ 年 , $t = 3200$ 年 を各々に代入して、

$$m_{800} = 1.0 \times \left(\frac{1}{2}\right)^{\frac{800}{1600}} = 0.71g$$
 $m_{3200} = 1.0 \times \left(\frac{1}{2}\right)^{\frac{3200}{1600}} = 0.25g$

(2)

①式に、

$$m_t = \frac{1}{8}g$$
 , $m_0 = 1.0g$, $T = 1600$ 年 を代入して、
$$\frac{1}{8} = 1.0 \cdot \left(\frac{1}{2}\right)^{\frac{t}{1600}}$$
 3 $\log \frac{1}{2} = \frac{t}{1600} \log \frac{1}{2}$ (両辺の対数をとり、真数を $\frac{1}{2}$ に揃える) 3 $= \frac{t}{1600}$ $\therefore t = 4800$ 年